

令和4年度

事業決算報告書



自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日

公益財団法人生涯学習かめおか財団

目 次

事 業 報 告 書

事 業 の 概 要	1
役員等に関する事項	2
会議及び議決事項	4
事 業 実 施 報 告	5
生涯学習事業一覧〔別紙〕	8

決 算 書

貸 借 対 照 表	1 3
正味財産増減計算書	1 4
正味財産増減計算書内訳表	1 6
財務諸表に対する注記	1 8
附 属 明 細 書	2 0
財 産 目 録	2 1

事業の概要

昭和63年3月に西日本で初めての「生涯学習都市」宣言に基づき、市民の自発性に基づく自由かつ創造的な生涯学習を民間活力で推進する組織として平成2年3月に誕生した当財団は、平成24年度から「公益財団法人」として新たな歩みを開始し、公益法人としての運営体制や組織の一層の整備、充実を図り、この33年間、亀岡市・亀岡市教育委員会・生涯学習かめおか財団が三位一体となり、生涯学習のまちづくりを積極的に推し進めてきました。

平成10年9月には生涯学習の中核施設となる「ギャラリーかめおか」が竣工し、施設の維持管理を当財団が担うとともに、平成18年度からは指定管理者に指定されるなど令和2年度までの22年間、施設の管理運営と事業を一体化した生涯学習の推進に取り組んできました。

令和3年度からは、「ギャラリーかめおか」が生涯学習の拠点施設として、また住民交流の促進や賑わいの拠点として一層の施設機能が発揮できるよう指定管理者が一般社団法人かめおかコンベンションビューローに変更となりましたが、当財団のこれまでの経験とノウハウを活かした運営も必要なことから、財団職員を出向させるなど、互いに連携を図りながら令和4年度も事業展開を図りました。

具体的な生涯学習推進啓発事業については、講演会事業、文化・芸術振興事業、講習会事業、啓発・支援事業、国際交流事業、調査研究事業など、地域住民一人ひとりの生涯学習活動のサポート役として、“学びのきっかけ”となるプログラムを展開、実施してきました。

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症が拡大し、やむを得ず事業を延期、中止とすることもありましたが、令和4年度は感染拡大防止の対策を徹底しながら、三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、亀岡生涯学習市民大学）を中心に、計画していたすべての事業を実施することができました。それぞれの事業において多彩な講師の講座により、“生きる喜びを感じる場”、“次世代へ文化が継承される場”、“私たちの住む亀岡について理解を深める場”となりました。また、文化・芸術の振興と向上、生涯学習の啓発と支援なども積極的に行い、亀岡国際交流協会（当財団所管）や市内の関係団体とも連携し、様々な事業に取り組みました。

役員等に関する事項

令和4年度における役員、評議員、職員の数はおおりのとおりです。

(1) 名誉顧問、顧問

役名	氏名	職名
名誉顧問	千 玄室	茶道裏千家大宗匠
名誉顧問	井上満郎	京都産業大学名誉教授、前生涯学習かめおか財団理事長
名誉顧問	田中英夫	京都府議会議員、元亀岡市長
名誉顧問	栗山正隆	前亀岡市長
名誉顧問	桂川孝裕	亀岡市長
顧問	大槻秧司	医療法人亀岡病院会長
顧問	楠 善夫	有限会社楠新聞舗取締役会長

(2) 理事

役名	氏名	職名
理事長 職務代理者 副理事長	前田逸郎	亀岡商工会議所顧問
副理事長	石野 茂	亀岡市副市長
常務理事	田中博樹	亀岡市生涯学習部長
理事	井口雅子	ジェンダーフリーのまちづくり会議代表
理事	桂 政彦	特定非営利活動法人みんなのネットワーク理事長 (かめおか市民活動推進センター登録団体代表)
理事	川勝啓史	亀岡商工会議所会頭
理事	木曾布恭	亀岡市自治会連合会副会長
理事	木戸邦考	一般社団法人亀岡市観光協会副会長
理事	關本卓男	公益財団法人亀岡市スポーツ協会会長
理事	高瀬尚文	京都先端科学大学研究・連携支援センター 副センター長
理事	田中秀門	一般社団法人かめおかコンベンションビューロー専務理事
理事	成尾 陽	宗教法人大本 総務責任役員 祭務部長

(3) 監事

役名	氏名	職名
監事	狩野浩二	京都北都信用金庫亀岡支店支店長
監事	平田利男	税理士法人平田会計事務所代表社員

(4) 評議員

役名	氏名	職名
評議員	大久保伸一	一般社団法人亀岡青年会議所直前理事長
評議員	亀井平男	亀岡経済同友会代表幹事
評議員	川勝眞里	国際ソロプチミスト亀岡会長
評議員	神先宏彰	亀岡市教育委員会教育長
評議員	北村裕司	亀岡ロータリークラブ会長
評議員	木村好孝	社会福祉法人亀岡市社会福祉協議会会長
評議員	工藤和之	亀岡市社会教育委員会議議長
評議員	辻香	亀岡市PTA連絡協議会前会長
評議員	温井雅紀	亀岡市医師会会長
評議員	林昭	亀岡市老人クラブ連合会会長
評議員	林恵子	亀岡文化交流協会相談役
評議員	古林峰夫	公益財団法人亀岡市都市緑花協会理事長
評議員	益田也寸子	亀岡ボランティア連絡協議会幹事
評議員	渡邊栄実子	亀岡商工会議所女性会会長

令和5年3月31日現在

(5) 職員配置状況

事務局長	事務局次長	主幹	主任	主査	嘱託
1	2 (内1名出向)	6 (内4名出向)	1	1	1
					合計
					12

会議及び議決事項

(1) 監査の実施

令和5年5月10日 令和4年度決算監査を実施

(2) 会 議

①理事会議決事項

開催	議案番号	件 名	議決年月日
第1回	報告 第1号	理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について	令和4年5月11日
	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団令和3年度事業報告及び収支決算について	
	第2号	定時評議員会の日程及び場所並びに目的である事項等の件	
第2回	報告 第1号	専決処分の報告について (財団職員給与規程の一部改正)	令和5年3月16日
	報告 第2号	理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について	
	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団令和5年度事業計画及び収支予算について	

②評議員会議決事項

開催	議案番号	件 名	議決年月日
第1回	第1号	公益財団法人生涯学習かめおか財団令和3年度事業報告及び収支決算について	令和4年5月31日
	第2号	公益財団法人生涯学習かめおか財団理事の選任について	
	第3号	公益財団法人生涯学習かめおか財団評議員の選任について	

事業実施報告

生涯学習推進普及啓発事業（公益事業）

（１）講演会事業

三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、亀岡生涯学習市民大学）をはじめ、それぞれの講演会の理念に沿ったテーマ、講師を選定し、生涯学習の機会を提供しました。

令和４年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、事前申し込み制とし、入場時の検温、手指の消毒を徹底し実施しました。

コレージュ・ド・カメオカは、第８５回を第２０回生涯学習ゆう・あい賞「千登三子賞」受賞記念講演として京都文化創生機構理事長の富士谷あつ子さんに、これまでの生涯学習の支援活動についてご講演いただきました。また第８６回は、第２１回生涯学習大賞『石田梅岩賞』受賞記念講演として一般社団法人沖縄県婦人連合会会長の與那覇信子さんに、戦後の沖縄における女性団体の活動に関するご講演と、あわせて琉球古典舞踊を披露していただきました。

丹波学トークは、「水」をテーマにした地域学講座を２回開催。研究者と地元の学芸員によるトークを行い、私たちの住む亀岡の名水や水質と地形などの関係性や江戸時代の水制システム「内膳堤」に関する理解を深めるとともに、歴史の痕跡を発見する楽しさを学びました。

亀岡生涯学習市民大学は、「試練から喜びの明日へ～学んで知る気づきを見つけよう！～」を年間テーマに、市民の運営委員会による講座として、多彩なジャンルの講師を迎え、特別音楽講座・館外研修を含め全１０講座を開催しました。

３月には「第８回輝きフォーラム」を開催。“遊びながら健康づくり～みんなと一緒に輝こう～”をテーマに、NPO法人元気アップAGEプロジェクトに協力をいただき、音楽とダンスを組み合わせた元気アップ体操の紹介を行い、健康維持と認知症の予防を考える機会になりました。

(2) 文化・芸術振興事業

実施運営委員会を中心に、生涯学習の成果発表と、芸術文化振興や交流の機会として例年、亀岡市民文化祭、亀岡市美術展を開催しています。

亀岡市美術展は、前年度コロナ禍で中止としたため2年ぶりの開催となりました。最終日には、受賞者と運営委員が展示会場で作品の講評会を行うなど、市民の文化芸術の向上を図りました。

亀岡市民文化祭は、前年度を大きく上回る舞台出演団体・展示作品がありました。また、実施運営委員会の主導により開催し、文化発表の機会を実現することができました。

7月には亀岡市のオカリナグループと隣接する京都市西京区のシルフィード合唱団、室内楽団との交流事業として、通算20回目の七夕交流コンサートを3年ぶりに開催しました。

3月には、様々な文化や国籍等を持つ人々が、互いの違いを尊重し、共に活躍できる多文化共生を考えるイベントとして「つながるフェスタ2023」を開催しました。記念講演会には戦場カメラマンの渡部陽一さんをお迎えし、様々な国の内戦や紛争、またロシアのウクライナ侵攻の現地取材レポートを交え、未来ある子どもたちが犠牲になる争いは絶対にしてはならない平和への願いが語られました。また、お茶席やモルックなどの体験や留学生による歌や踊りの披露もあり、様々な国の文化を共感し考えることのできるイベントになりました。

(3) 講習会事業

循環型生涯学習のモデルとして実施しているオカリナプロジェクトのオカリナ演奏講座を継続して行い、七夕交流コンサートへの出演につなげるなど、市民の学習機会、学びのきっかけづくりの提供、また受講生にとってコロナ禍における日々のいきがいや楽しみの時間になるよう、感染対策を講じて実施しました。

(4) 啓発、支援事業

市民の自主的な生涯学習活動を支援するため、「生涯学習事業助成」により活動経費の一部を13件に対して助成するとともに、その他市民・団体の自発的生涯学習各種事業に対して積極的に後援を行うなど、多面的な支援をいたしました。

また、ホームページやLINE等のSNSを活用し、随時に財団の事業展開、生涯学習の機会提供に関する広報に努めるとともに、新しく「まなびの情報紙」を年3回発行し、紙媒体での情報提供を求める市民の声に対応しました。

(5) 国際交流事業

亀岡国際交流協会の事務局を財団が所管し、同協会と連携しながら様々な事業に取り組みました。

在住外国人の生活に必要な日本語支援を目的とする外国人のための日本語教室や、市民と留学生・外国人住民との交流事業、多様な文化を理解するための国際理解学習の実施、また、かめおか多文化共生センターの運営を行い、生涯学習につながる多文化共生の地域づくりを推進しました。

これらには協会会員や多くの市民ボランティアの皆様の協力により、大きな成果をあげました。

(6) 調査研究事業

「市民活動団体における中核支援センターの役割」をテーマに、令和5年度からかめおか市民活動推進センターの管理運営を受託するにあたり、センターの現状把握を行うとともに、センターが担う中核支援機能の役割と重要性を再確認し、市民活動団体と連携したセンターの管理運営につながることを目的に調査を行いました。

〔別紙〕

(1)講演会事業

【コレージュ・ド・カメオカ】

事業名	実施日	内 容	参加者数
第85回 コレージュ・ド・カメオカ	5/28 (日)	第20回生涯学習ゆう・あい賞 『千登三子賞』受賞記念講演 「生涯学習支援活動 50年を超えて ～亀岡との出会い～」 講師:富士谷あつ子さん (評論家・京都文化創生機構理事長)	67名
第86回 コレージュ・ド・カメオカ	10/10 (月・祝)	第21回生涯学習大賞 『石田梅岩賞』受賞記念講演 「おきなわの女性と地域に根ざした活動」 講師:與那覇 信子さん (一般社団法人沖縄県婦人連合会 会長)	81名

【丹波学トーク】「水」シリーズ

事業名	実施日	内 容	参加者数
丹波学トーク 第99回	7/30 (土)	「名水誕生～語り継がれる水とまちの物語～」 <登壇者> 鈴木 康久さん(京都産業大学教授) 藪崎 志穂さん (総合地球環境学研究所 上級研究員) 黒川 孝宏さん(亀岡生涯学習市民大学学長)	36名
丹波学トーク 第100回	11/26 (土)	「内膳堤と道になった川～風景に刻まれた記憶～」 <登壇者> 石垣 泰輔さん(関西大学名誉教授) 鈴木 亜香音さん(元亀岡市文化資料館学芸員) 黒川 孝宏さん(亀岡生涯学習市民大学学長)	35名

【亀岡生涯学習市民大学】

事業名	実施日	内 容	参加者数
開講式 第1講座	6/25 (土)	「祇園祭の創始と変遷 ～疫病退散のまつりから巨大都市祭礼へ～」 講師:八木 透さん(佛教大学歴史学部教授)	141名
第2講座	7/24 (土)	「京の都の成り立ち」 講師:松本 伸之さん(京都国立博物館長)	152名

事業名	実施日	内 容	参加者数
第3講座	8/20 (土)	「コロナの時代を生きる～先人の経験に学ぶ～」 講師:松山 大耕さん(妙心寺退蔵院 副住職)	122名
第4講座	9/24 (土)	「天気予報の活用と気象災害の備え」 講師:蓬萊 大介さん(気象予報士・防災士)	263名
第5講座	10/29 (土)	「紫式部の人生」 講師:山本 淳子さん(京都先端科学大学教授) 〔古典の日にちなむ講座〕	174名
第6講座	12/17 (土)	「なぜ女性の落語家は少ないのか!？」 ～男でも女でもおもしろかったらええやん～ 講師:桂 二葉さん(落語家)	190名
第7講座	1/14 (土)	「コロナで実感!？」 元気なうちにやっておきたい介護と相続への備え」 講師:藪内 美樹さん (FP オフィス ライフ・カラーズ 代表)	116名
第8講座 閉講式	2/4 (土)	「保津川の風景～四季から見る歴史と文化～」 講師:黒川 孝宏さん(亀岡生涯学習市民大学学長)	98名
館外研修	10/8 (土)	「地球の生命」と「光秀公ゆかりの地」について学ぶ!! 行き先: JT 生命誌研究館(高槻市)、勝龍寺・勝竜寺城公園・恵解山古墳(長岡京市)	27名
特別 音楽講座	3/25 (土)	「ブラームスはお好き? ～ピアノ連弾による～」 講師:河野 美砂子 さん(ピアニスト) 砂原 悟 さん(ピアニスト)	152名

【輝きフォーラム】

事業名	実施日	内 容	参加者数
第8回 輝きフォーラム	3/19 (日)	「遊びながら健康づくり～みんなで一緒に輝こう～」 “元気アップ体操”を取り上げ、市民一人ひとりの心と身体が健やかであることが、まちの財産、まちの魅力であることを発信する機会とした。 協力: NPO 法人元気アップ AGE プロジェクト	125名

(2)文化・芸術振興事業

事業名	実施日	内 容	参加者数
亀岡市・京都市西京区都市間交流事業 七夕交流コンサート2022	7/10 (日)	亀岡市のオカリナグループと京都市西京区のシルフィード合唱団・室内楽団による交流コンサート3年ぶりに開催。	250名
多文化共生イベント つながるフェスタ2023	3/18 (土)	様々な文化や国籍等を持つ人々が、互いの違いを尊重し、共に活躍できる「多文化共生」について考えるイベントとして開催。 〔記念講演会〕 演題:「世界からのメッセージ ～希望ある明日のために～」 講師:渡部 陽一さん(戦場カメラマン) 〔体験イベント〕 お茶席体験、モルック体験、ドリームキャッチャーづくり、留学生による歌や踊りのパフォーマンス	記念講演 300名 体験会 200名

*実施運営委員会

事業名	内 容	鑑賞人数
第38回亀岡市美術展	市民の文化芸術の振興を図り、豊かな人間性の形成と技術の向上など生涯学習の成果発表の場として実施 開催期間 9/10(土)～19(月・祝) 出 展 100名・113点	2,237名
第46回亀岡市民文化祭	市民の多様な芸術・文化活動など生涯学習の発表の場として実施。 開催期間 11/12(土)・13(日) 展示の部 20団体 239点出展 舞台の部 41団体 329名参加	1,800名

(3)講習会事業

【オカリナプロジェクト】

事業名	実施回数	内 容	参加者数
オカリナ演奏講座	4月～3月 月2回	演奏講座(アンサンブルコース) 4クラス	延べ415名
市民オカリナ演奏団	5/8(日)、5/21(土) 6/4(土)、6/18(土)	七夕交流コンサートの出演に向けた練習会	各回 30名程度

(4)啓発・支援事業 【共催・後援事業】

事業名	実施日	内容	参加者・件数・登録団体数
オープンガーデンかめおか2022	5/14(土)・15(日)	バラの観賞・栽培相談、季節の寄せ植え体験教室、押し花作品展(体験会)を協力団体と実施	栽培相談会 押し花展 延べ500名
各種生涯学習事業後援	年間を通して実施	市内の団体等が実施する生涯学習事業に後援を行った。	10件 (協賛・協力を除く)
かめおか市民活動推進センター	当センターが中間支援機能を発揮できるように、運営のサポートをしている。		登録団体 92団体

【生涯学習助成事業】

申込団体名	事業名	助成金額(円)
一般社団法人いのり	『クニトコタチ』～平和へのいのり～ 上映会	64,000
亀岡映画センター	キネマの神様、生きろ島田叡、ヴェンディ上映会	100,000
舞舟源氏物語の会	京ことば 源氏物語 語り会(第2回)	90,000
「ことばの集い」実行委員会	第28回「ことばの集い」	60,000
小林 あすき	亀岡ゆかりの音楽家たちによるオータムコンサート	100,000
亀岡混声合唱団	第51回府下交歓演奏会	100,000
ふるさと亀岡ガイドの会	ふるさと亀岡の歴史発見	64,000
亀岡よし笛アンサンブル スカイラーク	亀岡よし笛アンサンブル スカイラーク 第3回演奏会	44,000
亀岡運動公園音楽祭実行委員会	亀岡運動公園音楽祭2022	100,000
地域資源を掘り起こす会	亀岡の宝物探し-仏像・仏画巡礼-	100,000
京都愛宕研究会	京都愛宕研究会 発足20周年記念事業	100,000
亀岡市吹奏楽団	創立45周年 第43回定期演奏会	100,000
亀岡元気にし隊	かめおか元気にし隊発会15周年記念事業 ～箕面自由学園チアリーダー部の招聘～	100,000
合計	13件	1,122,000

生涯学習事業助成要項に基づく審査委員により審査いただき、合計申請16件のうち13件について助成を決定し、助成金を交付しました。

(5)国際交流事業(亀岡国際交流協会と連携して開催)

事業名	実施日	内容	参加者数
国際理解学習 グローバルカフェ	① 7/27(水) ② 8/7(日) ③ 9/17(土) ④ 10/30(日) ⑤ 2/11(土)	市民と在住外国人の交流の場としてグローバルカフェを開催しました。 ① 英語で遊ぼう! ② Let ' s Talk About Society! ③ Ola!ブラジルを知ろう ④ ハロウィンミステリー ⑤ 春節の文化と料理	① 19名 ② 19名 ③ 15名 ④ 42名 ⑤ 22名
国際理解学習 オーストリアの名曲とトークイベント	12/2 (金)	姉妹都市クニッテルフェルト市があるオーストリアをテーマにしたコンサートとトークイベントを開催。文化や音楽、食文化に触れ、参加者同士が気軽に話合える交流の場となりました。	56名
ワールドフェスタ	①6/12(日) ②2/19(日)	①ワールドフェスタ2022「いろいろな人いろいろな考え方～みんないっしょに～」 ②ワールドフェスタ2023「わたしたちの世界～いろいろな人いろいろな文化～」 近年、様々な外国からの技能実習生や外国人住民が増えており、互いのことを知ることを目的に、近隣地域に住む外国人住民と地域住民とがつながる場として開催。	①150名 ② 70名
日本語教室	日曜日 年間35回開催	亀岡市内や近隣地域に住む外国人等を対象に日常生活に必要な日本語を習得していただくことを目的に開催。近年では、企業の技能実習生の増加に伴い、学習者が増加。	ボランティア 21名 登録学習者 36名
ドイツ語講座	土曜日 年間34回開催	ドイツ語の学習を通じて、ドイツ文化を学習。 参加者:3名	延べ97名
中国語講座	土曜日 年間34回開催 (オンライン含む)	中国語の学習を通じて、中国文化を学習。 参加者:5名	延べ138名

(6)調査・研究事業

テーマ	調査研究の目的・方法
市民活動団体における 中核支援センターの役割	令和5年度からかめおか市民活動推進センターの管理運営を受託するにあたり、センターの現状把握を行うとともに、センターが担う中核支援機能の役割と重要性を再確認し、市民活動団体と連携したセンターの管理運営につながることを目的に調査を行った。

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	50,758,857	51,462,770	△ 703,913
未収金	443,812	332,497	111,315
流動資産合計	51,202,669	51,795,267	△ 592,598
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	93,641,000	86,302,000	7,339,000
特定資産合計	93,641,000	86,302,000	7,339,000
(3) その他固定資産			
什器備品	8	8	0
車両運搬具	1	1	0
その他固定資産合計	9	9	0
固定資産合計	143,641,009	136,302,009	7,339,000
資産合計	194,843,678	188,097,276	6,746,402
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	991,945	265,290	726,655
前受金	0	0	0
預り金	7,331,275	13,018,142	△ 5,686,867
流動負債合計	8,323,220	13,283,432	△ 4,960,212
2. 固定負債			
退職給付引当金	93,641,000	86,302,000	7,339,000
固定負債合計	93,641,000	86,302,000	7,339,000
負債合計	101,964,220	99,585,432	2,378,788
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	
2. 一般正味財産	42,879,458	38,511,844	4,367,614
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	
正味財産合計	92,879,458	88,511,844	4,367,614
負債及び正味財産合計	194,843,678	188,097,276	6,746,402

正味財産増減計算書

令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3,200	3,800	△600
基本財産受取利息	3,200	3,800	△600
② 特定資産運用益	4,214	5,231	△1,017
特定資産受取利息	4,214	5,231	△1,017
③ 事業収益	533,250	414,000	119,250
事業収益	533,250	414,000	119,250
受講料等収益	533,250	414,000	119,250
④ 受取補助金等	57,987,866	54,980,212	3,007,654
受取地方公共団体補助金	57,987,866	54,980,212	3,007,654
⑤ 受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
⑥ 雑収益	4,370,200	0	4,370,200
雑収益	4,370,200	0	4,370,200
経常収益計	62,898,730	55,403,243	7,495,487
(2) 経常費用			
① 事業費			
ガレリアかめおか事業費	40,331,447	36,655,770	3,675,677
給料手当	23,716,012	23,335,528	380,484
退職給付費用	3,249,000	3,341,000	△92,000
福利厚生費	3,686,187	4,208,348	△522,161
会議費	74,766	29,118	45,648
旅費交通費	109,020	66,334	42,686
通信運搬費	114,770	127,399	△12,629
減価償却費	0	0	0
消耗品費	239,082	73,149	165,933
印刷製本費	588,460	487,140	101,320
燃料費	7,225	10,287	△3,062
賃借料	73,560	4,800	68,760
広告宣伝費	51,550	11,550	40,000
保険料	2,780	4,300	△1,520
諸謝金	2,548,500	1,756,222	792,278
租税公課	1,000	2,000	△1,000
支払助成金	1,122,000	701,000	421,000
委託費	4,712,115	2,461,350	2,250,765
原材料費	0	0	0
雑費	35,420	36,245	△825

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
財団管理費	18,199,669	24,727,942	△6,528,273
役員報酬	303,600	322,000	△18,400
給料手当	9,260,949	9,298,498	△37,549
退職給付費用	4,090,000	4,562,000	△472,000
福利厚生費	1,514,340	1,604,454	△90,114
報償費	0	70,000	△70,000
交際費	10,000	13,800	△3,800
会議費	0	1,500	△1,500
通信運搬費	241,389	219,864	21,525
研修費	132,000	0	132,000
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	357,500	392,458	△34,958
消耗品費	189,608	429,154	△239,546
修繕費	45,210	15,800	29,410
印刷製本費	0	0	0
燃料費	11,878	25,455	△13,577
光熱水費	184,123	134,212	49,911
賃借料	1,272,266	949,877	322,389
保険料	71,400	53,640	17,760
諸謝金	9,200	27,600	△18,400
租税公課	15,900	6,064,550	△6,048,650
支払負担金	131,296	121,487	9,809
委託費	338,800	392,876	△54,076
雑費	20,210	28,717	△8,507
経常費用計	58,531,116	61,383,712	△2,852,596
当期経常増減額	4,367,614	△5,980,469	10,348,083
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,367,614	△5,980,469	10,348,083
一般正味財産期首残高	38,511,844	44,492,313	△5,980,469
一般正味財産期末残高	42,879,458	38,511,844	4,367,614
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
III 正味財産期末残高	92,879,458	88,511,844	4,367,614

正味財産増減計算書（内訳表）
令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで

（単位：円）

勘定科目	公益事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	0	3,200	3,200
②特定資産運用益	0	4,214	4,214
③事業収益	533,250	0	533,250
入場料収益	0	0	0
受講料収益	533,250	0	533,250
④受取補助金	39,798,197	18,189,669	57,987,866
受取地方公共団体補助金（亀岡市）	39,798,197	18,189,669	57,987,866
⑤受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
⑥雑収益	0	4,370,200	4,370,200
雑収益	0	4,370,200	4,370,200
経常収益計	40,331,447	22,567,283	62,898,730
(2) 経常費用			
①事業費	40,331,447	0	40,331,447
給料手当	23,716,012		23,716,012
退職給付費用	3,249,000		3,249,000
福利厚生費	3,686,187		3,686,187
会議費	74,766		74,766
旅費交通費	109,020		109,020
通信運搬費	114,770		114,770
車両運搬具減価償却費	0		0
什器備品減価償却費	0		0
消耗品費	239,082		239,082
印刷製本費	588,460		588,460
燃料費	7,225		7,225
賃借料	73,560		73,560
広告宣伝費	51,550		51,550
保険料	2,780		2,780
諸謝金	2,548,500		2,548,500
租税公課	1,000		1,000
支払助成金	1,122,000		1,122,000
委託費	4,712,115		4,712,115
原材料費	0		0
雑費	35,420		35,420
②管理費	0	18,199,669	18,199,669
役員報酬		303,600	303,600
給料手当		9,260,949	9,260,949

勘定科目	公益事業	法人会計	合計
退職給付費用		4,090,000	4,090,000
福利厚生費		1,514,340	1,514,340
報償費		0	0
交際費		10,000	10,000
会議費		0	0
旅費交通費		0	0
通信運搬費		241,389	241,389
研修費		132,000	132,000
車両運搬具減価償却費		0	0
什器備品減価償却費		0	0
消耗什器備品費		357,500	357,500
消耗品費		189,608	189,608
修繕費		45,210	45,210
印刷製本費		0	0
燃料費		11,878	11,878
光熱水費		184,123	184,123
賃借料		1,272,266	1,272,266
保険料		71,400	71,400
諸謝金		9,200	9,200
租税公課		15,900	15,900
支払負担金		131,296	131,296
委託費		338,800	338,800
雑費		20,210	20,210
経常費用計	40,331,447	18,199,669	58,531,116
当期経常増減額	0	4,367,614	4,367,614
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	4,367,614	4,367,614
一般正味財産期首残高			38,511,844
一般正味財産期末残高			42,879,458
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			50,000,000
指定正味財産期末残高			50,000,000
III 正味財産期末残高			92,879,458

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品、車両運搬具について、定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	86,302,000	7,339,000	0	93,641,000
小計	86,302,000	7,339,000	0	93,641,000
合計	136,302,000	7,339,000	0	143,641,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
小 計	50,000,000	(50,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	93,641,000	—	(0)	(93,641,000)
小 計	93,641,000	(0)	(0)	(93,641,000)
合 計	143,641,000	(50,000,000)	(0)	(93,641,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	6,321,069	6,321,061	8
車両運搬具	934,500	934,499	1
合 計	7,255,569	7,255,560	9

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 亀岡市補助金	亀岡市	0	57,987,866	57,987,866	0	—
合 計		0	57,987,866	57,987,866	0	—

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	86,302,000	7,339,000	0	0	93,641,000

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
普通預金	京都銀行亀岡支店 No.914576	運転資金として	50,758,857
	京都銀行亀岡支店 No.3242386	運転資金として	0
	京都銀行亀岡支店 No.3355274	運転資金として	0
	京都信用金庫亀岡支店 No.0531710	運転資金として	0
	京都北都信用金庫亀岡支店 No.1078155	運転資金として	0
		〈現金預金計〉	50,758,857
未収金	一社) かめおかコンベンションビューロー	公益目的事業の未収金	443,812
		〈未収金計〉	443,812
流動資産合計			51,202,669
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	京都銀行亀岡支店	運用益を管理費の財源として使用	10,000,000
	京都信用金庫亀岡支店	〃	10,000,000
	京都中央信用金庫亀岡駅前支店	〃	10,000,000
	京都北都信用金庫亀岡支店	〃	10,000,000
	京都農業協同組合亀岡中央支店	〃	10,000,000
		〈基本財産計〉	50,000,000
特定資産			
退職給付引当資産	京都銀行亀岡支店	退職給付引当金の支払い財源として積み立て	38,843,000
	京都信用金庫亀岡支店	〃	27,000,000
	京都中央信用金庫亀岡駅前支店	〃	12,798,000
	京都北都信用金庫亀岡支店	〃	15,000,000
		〈特定資産計〉	93,641,000
その他固定資産			
什器備品	パソコン、プリンタ等	公益目的保有財産であり、公益目的事業、収益事業等、管理業務で使用している共用財産	8
	車両運搬具	公用車1台(軽自動車)	1
		〈その他固定資産計〉	9
固定資産合計			143,641,009
資産合計			194,843,678
(流動負債)			
未払金	京都銀行等	公益目的事業の未払金	991,945
		〈未払金計〉	991,945
前受金		〈前受金計〉	0
預り金	亀岡市 京都西年金事務所等	補助金返還金	5,572,134
		職員社会保険料等	1,759,141
		〈預り金計〉	7,331,275
流動負債合計			8,323,220
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員10名に対する退職金の支払いに備えたもの	93,641,000
固定負債合計			93,641,000
負債合計			101,964,220
正味財産			92,879,458